

子どもの本だな 72

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

おばけのジョージ

ロバート・ブライト さく・え 光吉 夏弥 やく (福音館書店)

ホイッティカーさんの家の屋根裏に、小さなおばけのジョージが住んでいました。ジョージは、毎晩、決まった時間に階段をみしり、ドアをぎーといわせます。すると、ホイッティカーさん夫婦は寝室にいく時間だとわかり、ねこはねずみを探し、ふくろうは目をさまして鳴きはじめるのです。

ところが、ある日、ホイッティカーさんが、階段に釘を打ち、ドアのちょうつがいに油をさしたので、音がなくなり、みんな時間がわからなくなりました。ジョージはおばけが住むのにいい家を探しに出かけました。村でおばけがないのは、陰気で気味の悪いグロームズさんの家だけでした。

夜の雰囲気、おばけの世界を紺一色のペン画で表現し、ジョージが再びホイッティカーさんの家に戻るまでをユーモラスに描きます。

読んでもらえば4歳から楽しめます。(竹内)

ツバメ号とアマゾン号 ランサム・サーガ1

アーサー・ランサム 作 神宮 輝夫 訳 (岩波書店)

ある夏休み、ジョン、スーザン、ティティ、ロジャの4人兄弟は帆船「ツバメ号」で湖の島に渡り、キャンプをすることになりました。ところが、「海賊アマゾン号」を名乗るナンシイとペギイ姉妹に宣戦布告を受け、船の争奪戦が始まります。ティティを島の見張りに残し、敵地に乗り込んだツバメ号は、葦原の中で身動きできない状態になってしまいます。その間にアマゾン号は島に乗りつけ上陸しますが、ティティがこっそり敵船に乗り込み、湖に漕ぎ出しました。

自分たちだけで船を操り、キャンプをする子どもたちの姿は、休暇を思い切り楽しみ、何事も自分たちだけでやり遂げる喜びに溢れています。屋形船荒らしや泥棒事件が持ち上がりハラハラした展開のなか、丁寧に描かれた登場人物が身近な人になっていきます。11歳位から。

(西村)

10月	11月	10・11月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
10日	7日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
17日	14日			原池田地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
24日	21日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

◆◆恐竜 de あすかイチ◆◆
11月17日(日) 9:30~16:00

①恐竜講演会
恐竜や太古の生き物について学ぼう!
~篠山層群から発見された恐竜・小さな動物化石~
・講師: 池田 忠広 氏
(兵庫県立大学 准教授)
・時間: 13:30~15:30
・場所: あすかホール 中ホール
・定員: 250名 (入場無料・申込不要)
・対象: 小学3年生以上

②ハイハイレースと絵本の時間
手遊びと絵本を楽しんだあと、ハイハイレースに参加してみませんか。
・時間: 10:30~11:30
・場所: あすかホール 研修室
・対象: 1歳くらいのハイハイできるお子さんとその保護者
・定員: 先着20組 (要申込)
※申込・問合せは、あすかホールまで。

『修復家だけが知るストラディヴァリウスの真価』

中澤 宗幸 著

毎日新聞出版

268 頁

2018 年 9 月刊

2,000 円

(請求記号) 763.4

ストラディヴァリウスが奏でる音色は、いつの時代も多くの人を魅了してきた。本書は、ヴァイオリン修復家の大家である著者が、ストラディヴァリウスの謎を紐解き、その魅力を存分に紹介したものである。

ストラディヴァリウスの製作者、アントニオ・ストラディヴァリはヴァイオリン発祥の地であるイタリアのクレモナに工房を構え、歴史に名を遺す名器を生み出し続けた。93歳でこの世を去るまでに生み出した楽器は3000挺以上、晩年の作品においても試行錯誤の跡が見られたほどの探求心の持ち主だった。こうした真摯な姿勢こそが、至高の名器を生み出したのではないだろうか。

この名器と他のヴァイオリンの違いは何か。それは音楽の表現力である。名だたる演奏家たちを虜にするほどの表現力、その秘密は木材にある。ストラディヴァリウスに使われている木材は、弾力性や反発力が優れているため、美しい高音を生み出す。これらの木材は、緻密に経年変化した木が使われ、人工的な再現は不可能である。また、ヴァイオリンは長年の演奏によって音色を蓄積し、独自の音色を持つようになる。ストラディヴァリウスは300年もの音色を宿しているのである。

1挺ごとに異なる人生を歩み、ひとつとして同じ物が無いからこそ、ストラディヴァリウスはここまで愛されているのかもしれない。ヴァイオリンを「生命を宿した箱」と表現した著者の言葉も比喻ではないように感じた。

(光藤)

10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		×	2	3	4	5
6	7	×	8	9	10	11
13	14	×	×	16	17	18
20	21	×	22	23	24	25 26
27	28	×	29	30	31	

※25～31日の□は特別館内整理のため休館。返却のみ受付(10:00～17:00)

11月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	×	×	7	8	9
10	11	×	×	13	14	15
17	18	×	×	20	21	22
24	×	×	27	28	29	30

長期休館のお知らせ

10月25日(金)～10月31日(木)
特別館内整理のため休館します。

※期間中は返却のみ受け付けます。
受付時間は10:00～17:00です。
(10月29日(火)は除きます。)

<イベントのお知らせ>

あすかふるさとまつりにあわせて、**青空リサイクル**を開きます。

・日時：11月3日(日)
10:00～15:00

・場所：図書館玄関前
※当日は駐車場が使用できません。
お気をつけください。

ほかにも、11月に恐竜や化石の
工作教室を予定しています。

*カレンダーの×印は休館日 *□は館内整理日、返却のみ受付(10:00～17:00)
*開館時間は10:00～18:00、金曜日は20:00まで開館

地下水

毎週金曜日は、閉館時間を延長して午後8時まで開館しているが、今、その2時間のあいだ、玄関に陶器のランプシェードを飾っている。太子町文化協会陶芸部の皆さんの作品で、様々な形の筒に小さな窓がたくさん開いていて、その窓からちらちらとあかりがもれる。28日の夕方には、あすかホールの黄昏コンサートに合わせ、創作室や芝生にたくさん並べられ、素敵な雰囲気だった。日暮れも早くなり、10月いっぱいには飾っているので、金曜日の夜間に一度来館してみてください。

また、図書館やあすかホールのカウンターには陶器の恐竜がいて、11月17日に開催予定の「恐竜 de あすかイチ」を宣伝している。これも陶芸部の皆さんの作品である。陶芸といえば花瓶や壺のイメージしかなかったが、おしゃれなランプシェードやお手軽なカップ、恐竜まで作れるのだと驚いている。当日は恐竜と化石についての講演会に合わせて、陶芸体験も予定されている。他にも恐竜映画や「ハイハイレースと絵本の時間」、生け花体験など、盛りだくさんのイベントとなるので、興味のあるところを、ぜひのぞいてみてください。

(池田)

